

取扱説明書

| |
|----------------------------|
| Bluetooth®対応集音範囲切替スピーカーフォン |
| TC-SPRC100 |

レシート・納品書は大切に保管してください

修理の際には、購入日を証明するものが必要です。

箱の中には

- 本体
- ACアダプター
- USBケーブル(A-C USB 2.0) 1.5m
- 取扱説明書(本紙)

動作環境・仕様



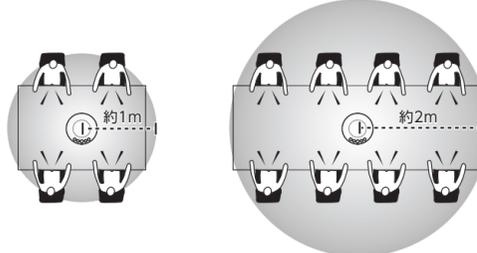
<https://www.iodata.jp/product/pc/pc/tc-sprc100/spec.htm#spectop>

本製品でできること

マイクの集音レベルを切替

マイクの集音レベルを2段階に切り替えることができます。使用人数や部屋の広さに合わせて切り替えることで、周囲の雑音を押さえることができます。

| | |
|--------------|---------------|
| マイク集音レベル:Low | マイク集音レベル:High |
| 使用人数目安:1~4名 | 使用人数目安:5~8名 |



※ 雑音源(パソコンの放熱ファンなど)からは離して設置してください。

Bluetoothでスマホと接続

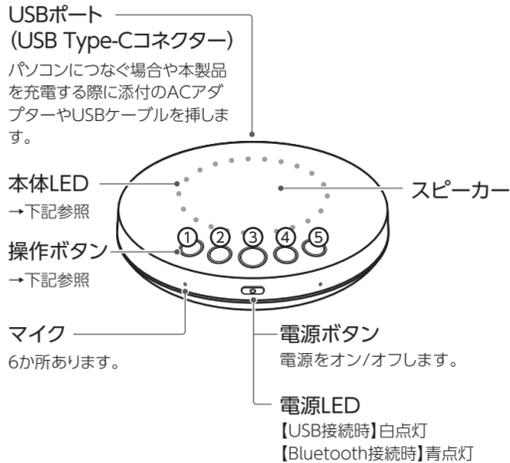
Bluetoothでスマホやパソコンとつないで手軽に会議がおこなえます。また、本製品を充電しておくこととコンセントのない場所でも使うことができるようになります。



パソコンとUSB接続

パソコンにUSB接続するだけで簡単にご使用いただけます。

各部の名称



操作ボタン

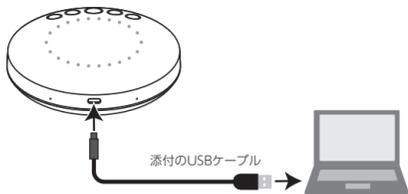
| 名称 | 概要 |
|----|---|
| ① | Bluetooth 【短押し】USBとBluetooth同時接続時は、押す毎に接続をUSB⇄Bluetoothで切り替えます。 【長押し(2秒)】ペアリングを開始します。Bluetooth接続中の場合はBluetoothを切断します。 |
| ② | 音量(-) スピーカーの音量を下げます。 |
| ③ | ミュート 【短押し】マイクをミュート(消音)します。 【長押し(2秒)】押す毎にマイク集音レベルをHigh⇄Lowに切り替えます。 |
| ④ | 音量(+) スピーカーの音量を上げます。 |
| ⑤ | 通話 電話の応答・終了がおこなえます。 ※ 本製品とスマートフォンをBluetoothで接続している時のみ操作できます。 |

本体LED

| 本体LED表示 | 状態 |
|-----------------------------|------------------------|
| 中心から順に白点灯し、全て白点灯したあと消灯 | 電源オン |
| 外側から順に白点灯し、全て白点灯したあと消灯 | 電源オフ |
| 黄色点灯 | マイク集音レベルをHighに設定(初期設定) |
| 水色点灯 | マイク集音レベルをLowに設定 |
| 全周赤点灯 | マイクをミュート(消音) |
| 全周赤色点滅 | バッテリー充電不足状態 |
| 充電量に連動して、赤→黄→黄緑→緑に点灯(緑が満充電) | バッテリー充電中 |
| 全周赤⇄青に交互点灯 | ペアリング中 |
| スピーカー音量に連動して緑点灯 | スピーカー音量に連動した状態 |

パソコンとUSB接続する方法

- 添付のUSBケーブルをパソコンのUSBポートと本製品に接続する
⇒電源がオン(電源LEDが白点灯)になり、本製品から起動音が鳴ります。



- パソコンに認識されたか確認する(下記参照)

※ 本体LEDが全周赤点滅した場合、充電が足りないため認識されないことがあります。充電されるまでしばらく待ってから電源ボタンを押してください。

パソコンに認識されたか確認する方法

Windowsの場合

- [Windows]ボタンを右クリック→[デバイスマネージャー]をクリック
- [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー]の下に[USB Speaker Phone]があることを確認する

※ Windows 7の場合
① Windowsボタン→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[デバイスマネージャー]の順にクリック
② [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー]の下に[USB Speaker Phone]があることを確認する

macOSの場合

- [QuickTimePlayer]アプリを起動する
- [ファイル] - [新規ムービー収録]をクリック
- [マイク]から[USB Speaker Phone]を選べることを確認する

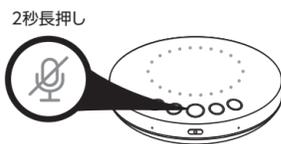
Chrome OSの場合

- 画面右下をクリック→[^]をクリックしメニューを展開する
- [🔊]→[音声設定]をクリック
- [USB Speaker Phone]が表示されることを確認する

これでパソコンに問題なく認識されています。お使いの会議アプリから、デバイス(オーディオ)の設定などで本製品を選んでお使いください。

マイク集音レベルの切替方法

マイク集音レベルの切り替えはミュートボタン を2秒長押ししておこないます。



| 本体LED表示 | マイク集音レベル | 集音範囲目安 | 使用人数目安 |
|---------|------------|--------|--------|
| 黄色点灯 | High(初期設定) | 約2m | 5~8名 |
| 水色点灯 | Low | 約1m | 1~4名 |

Zoomでの設定例 (Windows)

Zoomでの設定例を説明します。

※ アプリの操作は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

- Zoomの設定画面を開く
- [オーディオ]を開く
- 以下を設定する
 - USB接続の場合
 - ① 「スピーカー」で[USB Speaker Phone]を選ぶ
 - ② 「マイク」で[USB Speaker Phone]を選ぶ
 - Bluetooth接続の場合
 - ① 「スピーカー」で[ヘッドセット(TC-SPRC100…)]を選ぶ
 - ② 「マイク」で[ヘッドセット(TC-SPRC100…)]を選ぶ
 ※ 「スピーカー」に[ヘッドセット(TC-SPRC100…)]と[ヘッドホン(TC-SPRC100…)]の両方が表示されている場合は、[ヘッドセット(TC-SPRC100…)]を選択してください。
- 設定が完了したら設定画面を閉じる

Bluetooth接続する方法

初めに本製品と端末をペアリング(登録)してください。

初期設定(ペアリング)

- 添付のACアダプターを本製品とコンセントにつなぐ
※ 本製品を充電して使用することもできます。(下記「充電方法」参照)
- 電源ボタンを1秒押す
⇒電源LEDが白点灯します。
- Bluetoothボタン を2秒長押しする
⇒「ペアリングを開始します」のアナウンスが鳴り、本体LEDが赤⇄青に交互点灯します。
- 端末で[TC-SPRC100]を検索し、登録する
※ 検索方法はご利用の端末により異なります。

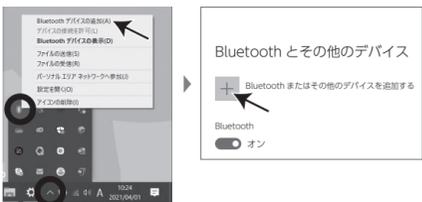
■ スマートフォンの場合

スマートフォンの設定画面で登録します。



■ パソコンの場合(例:Windows 10)

Bluetoothデバイスの追加をおこないます。画面の指示にしたがって登録してください。



- ペアリングに成功すると「Bluetoothに接続しました」のアナウンスが鳴り、電源LEDが青点灯に変わる

以上でペアリングは完了です。お使いの会議アプリから、デバイス(オーディオ)の設定などで本製品を選んでお使いください。
※ 次回以降は、ペアリング済端末からBluetooth接続設定画面で[TC-SPRC100]を選択して接続してください。

充電方法

本製品を充電すると、コンセントのない場所でもご使用いただくことができるようになります。

- 添付のACアダプターを本製品とコンセントにつなぐ
⇒本体LEDが充電量に連動して緑点灯に変わります。
- 本体LEDが一周緑点灯になったら充電完了

※ 満充電まで約2時間かかります。ただしバッテリーの劣化や充電方法の違いにより、充電時間が長くなる場合があります。
※ 添付のUSBケーブルでパソコンに挿して充電することもできます。その場合は満充電まで約6時間かかります。

困ったときには (FAQ)

パソコンに認識されない

- USBハブを使用して接続している場合は、直接パソコンのUSBポートに接続してお試しください。
- 別のUSBポートに接続してお試しください。

会議アプリに認識されない(マイクをオンにできない)

■ 会議アプリのデバイスの設定画面を開き、本製品を選択できるかご確認ください。なお、本製品の表示名は環境により異なります。以下を参考に選択してください。

- USB Speaker Phone
- ヘッドセット(TC-SPRC100…)
- ヘッドセット マイク(Bluetoothオーディオ)

■ パソコンの設定で、アプリのマイクへのアクセス許可をオンにしてください。

- Windows 10の場合
 - ① Windowsボタンを右クリックし、[設定]→[プライバシー]の順にクリックする
 - ② 「マイク」の[アプリがマイクにアクセスできるようにする]と[デスクトップアプリがマイクにアクセスできるようにする]の両方の設定をオンにする

- macOSの場合
 - ① [システム環境設定]→[セキュリティとプライバシー]→[プライバシー]タブを開く
 - ② 「マイク」をクリックし、「下のアプリケーションにマイクのアクセスを許可する」で、ご利用の会議アプリにチェックがついているかを確認する

急にBluetooth接続できなくなった

■ 電源LEDが白点灯している場合はUSB接続になっています。Bluetoothボタンを短押ししてBluetooth接続に切り替えてください。電源LEDが青点灯になれば接続完了です。

■ 再度ペアリングをおこなってみてください。(Bluetooth接続する方法)参照)

■ 充電してご使用の場合は、添付のACアダプターを接続してお試しください。

■ パソコンとUSB接続してご使用いただけるかどうかお試しください。(パソコンとUSB接続する方法)参照)

通話先で音声が届かない

- 本製品に向かってはっきりとお話してください。
- マイク集音レベルが[Low]になっている場合は、[High]に切り替えてお試しください。(ミュートボタンを2秒長押しして切替)
- すべての出席者が本製品の集音範囲内(Low:1m以内、High:2m以内)に収まっているかご確認ください。

使用上のご注意

Bluetooth使用時のご注意

- 使用しないときでも他のBluetooth機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

- 本製品と接続するBluetooth機器はいずれも、同じプロファイルに対応している必要があります。また対応プロファイルを搭載している機器同士であっても接続できない場合があります。

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

- 以下の機器は無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。
 - ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
 - 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - IEEE802.11g/b/n無線LAN機器
- 上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

- 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、Bluetooth機器とは異なる電波の周波数帯を使用していますが、本製品を含むBluetooth機器が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

- 無線LANやBluetoothなどで使用する2.4GHz帯は、USB 3.2 Gen 1 / Gen 2 / Gen 2x2搭載製品の近くで動作させると影響を受け、通信が遅くなったり、通信が切れてしまうことがあります。
 - USB 3.2 Gen 1 / Gen 2 / Gen 2x2搭載製品の近くで、本製品をできるだけ使用しないでください。
 - 5GHz帯の無線LANを利用可能な場合は、5GHz帯をご利用ください。

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

- 間に鉄筋や金属およびコンクリートなどの遮蔽物があると通信できません。他の機器とは見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

お手入れについて

- 本製品についた汚れなどを落とす場合は、柔らかいきれいな布で軽く拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

- ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない本電源コードから発煙したり、発火の原因になります。
- AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながらない発火、発熱のおそれがあります。
- 電源コードやACアダプターにものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

- ゆるいコンセントにつながらない電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

| | |
|---|-----------------------|
| ▼ 警告および注意表示 | ▼ 絵記号の意味 |
| 危険 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。 | 禁止 |
| 警告 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。 | 指示を守る |
| 注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。 | |

危険

電池について

- 電池について、以下のことに注意する本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発するおそれがあります。
 - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
 - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
 - 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
 - 水、海水、ジュースなどでぬらさないでください。
 - 強い衝撃を与える、投げる、踏む、たたくなどをしないでください。
 - 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
 - 付属または指定された充電器以外では充電しないでください。

警告

- 本製品を修理・分解・改造しない発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

- 煙が出たり、変な臭いや音が出たら、すぐに使用を中止するそのまま使うと発火・感電の原因になります。

- ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない水や洗剤などがACアダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
 - お風呂場、雨天、降雪中、海洋、水辺で使う際は、特に注意する
 - 水の入ったもの(コップ、花瓶など)を上に置かない
 - 万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しない

- 本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない本製品を発熱するもの近くに置かない発火の原因になります。

- 故障や異常のまま、つながらない本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

- 雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない感電の原因になります。

- 本製品を病院内で使わない医療機器の誤動作の原因になります。

- 本製品を飛行機の中で使わない飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピューターから本製品を取り外してください。

- ペースメーカー等の医療機器や、産業・科学機器の近くで使用しないペースメーカー等の医療機器や、産業・科学機器の動作に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。また医療機関では無線機器の使用を禁止していることがあります。

電源 (ACアダプター・コード・プラグ) について

- ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない本電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

- AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながらない発火、発熱のおそれがあります。

- 電源コードやACアダプターにものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

- ゆるいコンセントにつながらない電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。

- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷がつき、発火や感電の原因になります。

- 添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながらない発火や感電の原因になります。添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

- コンセントまわりは定期的に掃除する長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)

- 煙がでたり、変なにおいや音が出たら、すぐにコンセントから電源プラグを抜くそのまま使うと発火・感電の原因になります。

- じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない発火の原因になります。

- 熱器具のそばに配線しない電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

- テーブルタップを使用するときは定格容量以内で使用する、たこ足配線はしないテーブルタップの定格容量 (11500W) などの記載) を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

注意

- 長時間にわたり一定の場所に触れ続けない本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起す恐れがあります。

- 本製品を踏まない破損し、ケガをするおそれがあります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 人が通るような場所に配線しない足を引っ掛けると、けがの原因になります。

- はじめから音量を上げすぎない聴力を損なうおそれがあります。

- ご使用の際は、音量を大きくしすぎない聴力を損なうおそれがあります。

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

内蔵バッテリーについて

バッテリーは消耗品です。正しい方法であっても充電/放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。

バッテリーは、本製品を使用しない場合でも自然放電します。長時間放置した場合は改めて充電してからご利用ください。

充電時間は、バッテリーの使用状態、充電方法、周囲の温度などによって変わります。

高温状態で保管すると、バッテリー性能の劣化が早まります。直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

バッテリーは、取り外しできません。

本製品はリチウムイオン電池を使用しております。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により破裂する恐れがあります。

リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。本製品を廃棄する場合は分解せず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷がつき、発火や感電の原因になります。



ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)(に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。))の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より1年間、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合には保証の対象とはなりません。

- 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
- 中古品でご購入された場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 取扱説明書等に記載の使用法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくはは損傷の場合
- 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- お送付の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等については、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 弊社に故意または重大失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。Our company provides the service under this warranty only in Japan.

アフターサービス

| | |
|-----------|--|
| 重要 | ●本製品の修理対応、電話やメールによるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。 |
| | ●個人情報 は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー(https://www.iodata.jp/privacy.htm)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。 |

Webで修理申込

お問い合わせ方法

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア



https://www.iodata.jp/lib/

電話でのお問い合わせ

050-3116-3012

受付 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

メールでのお問い合わせ



https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/other?

修理の流れ

| | | | | | |
|------------------|---------------|----|---------------|----|-----------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| 修理申込 (申込番号発行) | 修理センター に送信 | 検査 | 有償時のみ 見積連絡 | 修理 | 修理品 返送 |

①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。



https://www.iodata.jp/support/after/repair/
※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL (FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②修理センターに送信

- 商品一式
- 申込番号を書いたメモ (Web申込時に発行された番号)
- レシートや納品書など、購入日を示すもの



- ※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
- ※送料は、発送時のお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- ※嚴重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
- ※液晶ディスプレイ製の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
- ※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。(申込番号で検索)

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

- 無線LANやBluetoothなどで使用する2.4GHz帯は、USB 3.2 Gen 1 / Gen 2 / Gen 2x2搭載製品の近くで動作させると影響を受け、通信が遅くなったり、通信が切れてしまうことがあります。
 - USB 3.2 Gen 1 / Gen 2 / Gen 2x2搭載製品の近くで、本製品をできるだけ使用しないでください。
 - 5GHz帯の無線LANを利用可能な場合は、5GHz帯をご利用ください。

無線LANやBluetoothなどを使用する際の注意

[ユーザー登録はこちら]・・・https://ioportal.iodata.jp/
ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号(S/N)は本製品に印字されている12桁の英数字です。(例: ABC1234567ZX)

[本製品の廃棄について]
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

[商標について]
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【ご注意】

- 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、別段の定めのない限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組みこんでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

| | |
|-------------------------------|--|
| よりよい商品作りのため アンケートにご協力願います。 | |
|-------------------------------|--|